

第1回 足立ロゲイニング チェックポイント

制限時間5時間(1分につき50点減点,16時を過ぎると失格)合計1700点
交通ルール厳守・寺社での走行禁止・歩行者優先

 <p>ベルモント公園 ひつじ</p> <p>足立区とオーストラリアのベルモント市は姉妹都市提携をしています。提携を記念する目的として開園しました。</p> <p>スタートでは、スタッフの記念撮影をうけてください！</p>	<p>25 足立産業センター 千住町役場跡碑</p> <p>足立区は武蔵国東の足立郡が、1878年に南北に分かれた南足立郡の10ヶ町村(千住町、西新井町、梅島町、東洲江村、洲江村、伊興村、江北村、綾瀬村、花畑村、舎人村)が前身。</p>	<p>37 国土堂寺 本堂</p> <p>日蓮ゆかりの日蓮聖人が日蓮聖人が開山、千葉太郎源胤が開基となり、応永17年(1410)に創建したといわれています。</p> <p>蘇の寺紋を許され、朱印を賜るなど、徳川将軍家から厚く信任されていた寺で、日日光道通に近く、将軍御用が位階所や御願所として立ち寄りしました。</p>	<p>51 中曽根神社 中曽根城址</p> <p>中曽根城は、室町時代足立区一帯を支配していた千葉次郎勝胤公によって築城されました。周囲六町四方(36ヘクタール)でそとがまに堀や土塁をめぐらしてたと伝えられています。平成8年の発掘調査で幅7m程の濠跡が確認されています。</p>
<p>グルメポイント</p> <p>商品購入をする場合は、購入からそのポイントで飲食を楽しんでいる間はストップウォッチを止めておいて経過です。 美味しかったら、ぜひSNSなどで紹介してください！ グルメポイントではクーポン券が優待です(お一人様1枚まで)</p>	<p>26 本木保育園南西角 西新井町役場跡碑</p> <p>町名の由来は西新井大師の「加持水の井戸」をご覧ください。⇒⇒⇒ 1889年 市制町村制施行により西新井村、興野村、本木村の3か村を合併統合し西新井村が発足。 1928年 町制施行により西新井町に。</p>	<p>38 西新井大師 加持水の井戸</p> <p>826年(天長3年)空海(弘法大師)が加持祈禱をした際に水が湧き出て、たちどころに疫病が平癒したとのことです。この井戸が本堂の西側にあることが西新井という地名の由来とされています。</p>	<p>52 大鷲(おおとり)神社 神社本殿</p> <p>各地で行われる「酉の市」の発祥の地といわれています。創建年代は不詳だが、平安時代源義光が奥州の役に向う途中、社前に戦勝を祈願したといわれる酉の市の由来。応徳(1084年)のころから毎年11月の酉の日に例祭が行われていへんにぎわいを呈しました。</p>
<p>12 PATISSERIE LA VIE UN REVE</p> <p>パリの街角のパティスリーのような店内に華やかなスイーツが並んでいます。2014年9月に開業。菓子業界最大のコンクールの一つである「ジャン・ケキ・ショー東京」で優勝したシェフが腕を奮います。 EAT INあり</p>	<p>27 舎人小学校 舎人村役場跡碑</p> <p>村名の由来は、旧来の舎人領に属していたことから。1889年市制町村制施行により舎人村、入谷村、古千谷村の3か村を統合し舎人村が発足。</p>	<p>39 新選組屯所 金子家正門</p> <p>甲州で官軍との戦いに敗れた後、慶応4年(1868年)3月13日から4月1日まで近藤勇、土方歳三ら新選組の一族が、綾瀬村の名主金子家を居所として再起を図りました。当初は48名でしたが、4月1日には近くの分家と観音寺にも分宿し227名にも達したと伝えられています。</p>	<p>53 東岳寺 初代安藤広重墓</p> <p>江戸時代後期天保年間(「東海道五十三次」)を発表し一躍名声を得た初代安藤広重(南川広重)の墓があるお寺です。その広重に心酔し、浮世絵を世界に広めた米国人ハッパバーの墓もあります。</p>
<p>13 パティスリー・アトリエ・エデュ</p> <p>添加物、保存料、安定剤、着色料、人工香料など本来必要のないものは一切使わずに、丁寧な心をこめて菓子を作っています。定番のエクレアもほかにはない美味しさです。 EAT INなし</p>	<p>28 ヴィアラージュ湖 洲江村役場跡碑</p> <p>洲江の名が最初に文献に登場するのは1397年(応永4年)の洲江郷。かつて洲江とは舎人周辺地域を除く足立区全体を示す名称でした。 碑はマッシュン前の植え込みの中でわかりにくいかも</p>	<p>40 ほねつぎの名倉 名倉医院正門</p> <p>名倉医院は江戸時代以来、骨つぎと言えは名倉、名倉と言えは骨つぎの代名詞になるほど、全国に知られた医療機関でした。日光街道中や水戸、佐倉まで分枝点を開設して使が良かったので、駕籠や車運で運ばれてくる骨折患者でひしめいていたといえます。</p>	<p>55 炎天寺 負けるな やせ蛙</p> <p>炎天寺は平安末期の創建と伝えられています。江戸時代の俳人、小林一茶がこの寺を訪れた際に「蛙なくや六月村の炎天寺」「やせ蛙するな一茶是にあり」などの句を残したとされています。</p>
<p>14 Le pain Lapin</p> <p>ジョエル・ロブションなどで修業を積んだ店主が2011年に開業。ハード系のパンが評判で通常は3時間ほどのところ、16時間も発酵させるそうです。 EAT INなし</p>	<p>29 西綾瀬ボランティアセンター 綾瀬村役場跡碑</p> <p>村名の由来は、綾瀬川から。1889年5月1日 市制町村制の施行により伊藤谷村、弥五郎新田、五兵衛新田、次郎左衛門新田の4か村と、保木間村飛地(字二ツ屋新田)を合併統合し綾瀬村が発足。</p>	<p>41 六町ミュージアム・フロア 美術館入口</p> <p>施設と周りの環境を通じて、日本固有の変化に富んだ四季の美しさを、素晴らしい設計で、四季折々の自然の姿を表現し、より多くの人が知ってもらおうとを目的とし、平成24年6月にオープンしました。</p>	<p>56 千住中層町公園 森鷗外大正記念道碑</p> <p>荒川放水路の開削工事で荒川を開鑿された新道も整備されたといわれ、大正5年に大正5年に千住の民たちが森鷗外に讃文を依頼しました。森鷗外は19歳で東京大学医学部を卒業すると、ドイツ留学での4年間を父の住む千住で過ごし、陸軍病院へ軍医として通勤していました。</p>
<p>15 喜田屋本店</p> <p>足立区を中心に現在15店舗。原点とも言えるどらやき「初箱(はつしゆく)」や「千住最中」「福良ずめ」「パリパリ最中」などの定番のお菓子をもちろんのこと、新定番新しいタイプの「六人家族」「塩味生クリーム大福」もおすすめです。 EAT INなし</p>	<p>30 足立区役所 時の柱</p> <p>「希望にみちた未来へ、光の波は足立の風景と人々の心をそれぞれに映しながら大空に向かってのびてゆく」区民広場のシンボルタワーです。 足立区役所の庁舎は1996年(平成8年)に千住から中央本町区役所に移転してきました。</p>	<p>42 東洲江庭園 東洲江庭園</p> <p>東洲江庭園は、郷土博物館に併設された回遊式日本庭園です。豪放な石組や常緑樹の多い、野趣味が濃厚な庭園で、造園家小形研三氏の設計です。四季折々の自然の変化を楽しむことができます。庭園の奥から臨海亭を覗いてください。園内は飲食禁止・走行禁止</p>	<p>57 千住大橋橋詰テラス 奥の細道四屏風絵</p> <p>奥の細道 矢立初めの地 1689年(元禄2年)3月27日の明け方、松尾芭蕉は探検(さいとあん)より舟に乗り出て出立し、千住大橋付近で船を下りてこの句を詠みました。 「行く春や 烏鴨(なま)魚の目は泪」</p>
<p>17 栴屋(もみじや)</p> <p>日光天然水を使った『かき氷屋さん』として、2012年にオープンしたアウトホームな雰囲気のお店です。食ベログ「EAT INのみ」2013」に選ばれました。 EAT INのみ 11:00からの営業</p>	<p>31 かめだトレイン公園 駅の看板</p> <p>以前ここには東武鉄道の西新井工場がありました。工場廃止(2004年)後の再開発の一環として車庫工場のイメージを取り入れて整備されました。</p>	<p>43 しょうぶ沼公園 三連水車</p> <p>しょうぶ沼公園一帯は、その首野生のノハナショウボが多岐咲き誇っていました。土地区画整理事業に伴う公園が造成するにあたり、首の地名を残したいとの地元の方々の願いから、旧地名である昌蒲沼耕地にちなんで「しょうぶ沼公園」と名づけられました。</p>	<p>59 東京都立足立新田高等学校 夏目漱石文学碑</p> <p>夏目漱石著「虞美人草」(明治40年8月〜10月に朝日新聞連載)には「土地区画整理事業に伴う公園」へ行って板屋を取って王子へ行って汽車で帰ってくる」とあり、執筆に先立ち「荒川の夜」や「板屋」など高校周辺の風物を見物しています。これより奥に入らない</p>
<p>20 アメージングスクエア 入口の看板</p> <p>足立区の迷宮といえば、この施設を思い浮かべる人もいます。巨大迷路はアメージングスクエアの目玉のアトラクションでした。2002年に開園しましたが入口の看板のみ残っています。</p>	<p>32 北鹿浜公園 C50-75号機</p> <p>日本に現存するC50型の蒸気機関車は6両車で、そのうち開業にあるのは小山市と北鹿浜公園の2両車。昭和46年に今の区役所本庁舎南側の中央公園へ設置後、平成4年に北鹿浜公園へ移設されました。</p>	<p>45 元洲江公園 生物園</p> <p>足立区唯一の「動物園・水族館」です。1F、2Fの屋内展示と屋外展示場からなっています。1F2吹き抜けの「蝶の大遊覧」では多種の蝶が舞います。モルモットや羊などの動物と直接ふれあうこともできます。</p>	<p>62 小台 小台の七庚申</p> <p>武州下足立郡洲江領富城村と刻銘されていますが、この地名をとって小台(おだい)の七庚申(しちごうしん)と呼ばれて信仰を集めています。大正初期の荒川放水路の開削工事で立ち退きとなりここに移転安置されました。危険なので土手の道から飛び降りない!(主催者が怪我しました)</p>
<p>21 やっちゃば緑道 やっちゃば緑道看板</p> <p>「やっちゃば(場)」とは「青果市場」のことで、そのせりのかけ声「やっちゃば」が由来です。北千住駅の南方からの引き込み敷が廃止されたあと足立区が整備して緑道にしました。故尾崎豊さんが倒れて見つかったのはこの3軒となりの民家の軒先でした。</p>	<p>33 青和ばら公園 大きなヤシの木</p> <p>例年、春は5月中旬から6月中旬、秋は10月中旬から11月中旬に、約100種、920株の色とりどりのバラの花が、訪れる人を迎えてくれます。異国情緒を醸し出す石畳やドーム風のパーゴラ、大きなカナリヤンが、洋風の花壇を演出します。</p>	<p>46 新西新井公園 タコの山 発祥の地</p> <p>もともとは「石の山」だったのですが、当時の足立区の担当者がなかなかよくわからないからいって石の山にしようとしてくれたのでこの形になり1965年ここに建設されました。その後、全国の公園にひろまる約40基あるようですがすべて手作りだったと同じものが無いとのことです。</p>	<p>63 古岡田川 古岡田川総合案内</p> <p>古岡田川は、かつて利根川から岡田川に流れ込む大河でしたが中川などの灌漑事業などで今ではほとんどが暗渠化しています。荒川放水路の開削工事境界線がねぐねとしていたのはこの古岡田川があったからです。</p>
<p>22 北足立市場 正面入り口</p> <p>千住の足立市場の開設は天正4(1576)年といわれており当初は青物市場でした。昭和20年2月に西新井が取りつた北魚市場が収容され魚類部となり現在は水産物が取引されています。江戸・東京の台所を誇ってきた青果部は昭和54年9月「北足立市場」としてここに移転しました。</p>	<p>34 白旗塚史跡公園 白旗塚古墳</p> <p>伊興町一帯は多くの古墳がありました。現在残っているのは、この円墳白旗塚だけです。5.6世紀頃の直径12m、高さ2.5mの円墳です。康平5年(1062年)源頼義、義家親子が奥州反乱を鎮圧する途上の戦いでこの塚に白旗を立て、苦戦の末に勝利したため白旗塚と呼ぶようになったといわれています。</p>	<p>47 花畑記念庭園 大滝</p> <p>三波石をふんだんに使った「ざれ石積」の大滝は、三段落として、高さ4メートル、石積の間は高さ50センチが、涼やかです。花畑記念庭園は、足立区50周年を記念して花畑公園の西側に建設された日本文化に親しみ場を身近に実現させたものです。園内飲食禁止・走行禁止</p>	<p>64 神領観音水縁道 カルガモ</p> <p>御神領館(ごんりょうぐら)は江戸時代、この地域の村々の用水組合によって管理・運営された歴史的に重要な用水です。今回のロゲイニングの監視は世田谷ロゲイニングで馴染みの「野川のカルガモおとーさん」。足立区まで出張していただきました。</p>
<p>23 江北北部緑道 里帰りの桜</p> <p>明治45年に東京市がワンタンの間に荒川の五色桜の苗木千本を贈っています。しかし「荒川の五色桜」は堤防工事・戦争などの影響で衰退。足立区は昭和56年にワンタンから千本の桜の里帰りを果たさせ「都市農業公園」「荒川桜づつみ」など新名所となっています。</p>	<p>35 堀之内北公園 3体の恐竜</p> <p>恐らく実物大のステゴサウルスとミニサイズのアンキロサウルス、アパサウルス、かなりリアルに作られており、今にも動き出しそうです。</p>	<p>48 都市農業公園 旧増野製作所長屋門</p> <p>江戸時代初期に開墾された谷中新田の北側に遠野久右衛門の開拓地です。この長屋門は明治30年ごろの建築で長屋門母屋造りの榎瓦葺(きんがわらき)で遠野家の正門として「谷久門(やきゅうもん)」と称されていました。2000年に区が寄贈を受け、この地に移築復元しました。</p>	<p>65 神領六木遊歩道 平成泉橋</p> <p>「蔵蔵野の路」倉人コースの一部。神領六木遊歩道はとてもよと整備された川(かけがわ)の周辺に自生した樹木が落ち着いた景観をつついています。堀川の水を浄化する施設があり30分ごとに5分程度の割合で平成泉橋からニューターカーテン(落水と噴霧)が見られます。</p>
<p>24 五色堀公園 栽櫻記碑</p> <p>足立区江北の一帯は、昭和初期まで様々な品種の桜が五色の錦がたなびくように見えたことから「荒川の五色桜」と呼ばれる桜の名所でした。五色堀公園は「荒川五色桜」ゆかりの公園として知られており、春に20本の里帰り桜が咲き誇ります。ぜひ荒川の桜を見に来てください(ム??次回予告?)</p>	<p>36 伊興道跡公園 伊興道水川</p> <p>伊興道跡はこの公園となり、谷中川神社から南へ660m東西に690mの広がりをとり、都内屈指の古墳時代遺跡です。この地はその遺跡の中心部となります。</p>	<p>50 舎人公園 朝日の広場</p> <p>舎人公園は様々な施設と多様な自然が整備された、最終的には89.5ヘクタールにも及ぶ公園です。 「朝日の広場」は標高は17.5mあって、ここが足立区の地表面では最高点。日暮里舎人線車庫の上部に盛土をして公園として整備したものです。</p>	<p>(時計の専真)</p> <p>ゴールでは、スタッフの記念撮影をうけてください！</p>